

(実施期間:平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日)

**1. CO<sub>2</sub>排出量の計算**

・直近の1年間の実績値をご記入ください。

**① 輸送によるCO<sub>2</sub>排出削減**

実績値		(事業実施前)	(事業実施後)
	輸送物量 (トン)		
	輸送距離 (キロ)		
	輸送量 (トンキロ)	0.0	0.0
	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	a	a'
輸送によるCO <sub>2</sub> 排出削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)		b	

計算式  $b = a - a'$

・輸送による事業実施前と実施後のCO<sub>2</sub>排出量を記入してください。輸送によるCO<sub>2</sub>排出削減がない場合は、記入不要です。

・「実績値」の太枠で囲まれた箇所(輸送物量、輸送距離、輸送量、CO<sub>2</sub>排出量)の欄のみ記入してください。(他の箇所は自動計算となっております。)

・事業実施前の輸送物量(トン)は事業実施後の数値(実際の数値)と同じ値を入力してください。物量の変化によるCO<sub>2</sub>削減量では無く、輸送によるCO<sub>2</sub>削減量を把握するためです。

・「実績値」の記入にあたっては、グリーン物流パートナーシップ会議が提供する「簡易計算ツール」の使用をお薦めいたしますが、その他の計算方法でも構いません。どのような計算方法で計算したのか、根拠となる計算式・計算方法(簡易計算ツール使用の場合は入力シート及び計算シート)を添付してください。

**② 輸送以外の取組によるCO<sub>2</sub>排出削減**

排出削減量と計算根拠を以下にご記入ください。

・輸送以外の取組によるCO<sub>2</sub>排出削減について、削減量と計算根拠を記入してください。

・CO<sub>2</sub>排出削減量の計算にあたっては、以下のツール等を参考にお使いください。

<エネルギー使用量>

<http://www.enecho.meti.go.jp/notice/topics/002/>

<アイドリングストップ>

[https://www.env.go.jp/earth/cop3/dekiru/ta\\_03-2.html](https://www.env.go.jp/earth/cop3/dekiru/ta_03-2.html)

<3R行動見える化>

[http://www.env.go.jp/recycle/circul/3r\\_visu-tool.html](http://www.env.go.jp/recycle/circul/3r_visu-tool.html)

・輸送以外の取組によるCO<sub>2</sub>排出削減量を入力してください。

輸送以外の取組によるCO <sub>2</sub> 排出削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	c
-----------------------------------------------------------	---

**2. CO<sub>2</sub>排出削減率の計算**

・事業、取組実施前のCO<sub>2</sub>排出量を入力してください。

事業・取組実施前の合計CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	d
----------------------------------------------------------	---

①輸送、②輸送以外の事業・取組実施による合計CO <sub>2</sub> 排出削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	e
-----------------------------------------------------------------------	---

・輸送によるCO<sub>2</sub>排出削減量と輸送以外の取組によるCO<sub>2</sub>排出削減量の合計およびCO<sub>2</sub>排出削減率は自動計算されます。

CO <sub>2</sub> 排出削減率	f
-----------------------	---

計算式  $e = b + c$   
 $f = e / d$

(実施期間:平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日)

・直近の1年間の実績値をご記入ください。

**CO<sub>2</sub>削減以外の環境負荷低減又は物流の生産性向上等による  
持続可能な物流体系の構築に資する取組について**

- ・CO<sub>2</sub>削減以外の環境負荷低減又は物流の生産性向上等による持続可能な物流体系の構築の取組について、申請書に記載をした場合は、本様式にその計算根拠について記載をしてください。
  - ・計算根拠を記載する際は、適宜適切な指標を用いてください。  
(指標の例:環境負荷物質の削減量(t/年)、労働時間の減少量(人日/年)、等。また、特に生産性向上の取組について記載をする場合は、別添の「代表的な物流フローに即したKPIの利用例・KPIの算出方法例」を参考にしてください。)
- ※KPIとは「Key Performance Indicator(s)」の略であり、重要業績評価指標などと訳される。

計算根拠を以下にご記入ください。

- ・申請書に、CO<sub>2</sub>削減以外の環境負荷低減又は物流の生産性向上等による持続可能な物流体系の構築の取組について記載をした場合は、本様式にその計算根拠について記載をしてください。申請書に記入がない場合は、本様式も記入不要です。
- ・計算根拠の記入にあたっては、どのような計算方法で計算したのか、根拠となる計算式・計算方法が分かるように記入をしてください。
- ・本様式は適宜枚数を増やして使用してかまいません。

実施前

当該事業の実施状況が明確にわかる写真を2～3枚程度添付してください。その際、場所や状況がわかるよう、注釈を付けて下さい。

写真はデジタルカメラ等で撮影した電子データの添付が望ましいですが、印刷した写真の添付でも構いません。

実施後

写 真

当該事業の実施状況が明確にわかる写真を2～3枚程度添付してください。その際、場所や状況がわかるよう、注釈を付けて下さい。

写真はデジタルカメラ等で撮影した電子データの添付が望ましいですが、印刷した写真の添付でも構いません。